

第3回 いきいきプラン八王子推進委員会

日 時 平成23年12月13日(火) 午前10時
会 場 八王子市役所702会議室

次 第

1. 委員長あいさつ

2. 議題

(1) 平成23年度計画実施状況(平成23年11月末日時点)について 資料1

3. その他

<地域福祉活動計画>

平成23年度具体的な行動内容(概要版)

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成23年8月末時点)	取り組んだ内容(平成23年11月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
1	住民懇談会の開催	住民懇談会の開催	3ヶ所×2回	6ヶ所×2回	12ヶ所×2回	24ヶ所×2回	6か所 12回開催 ・北部圏域での継続的な取り組み ・その他圏域での実施	別紙1のとおり	別紙1のとおり
2	サロン活動の拡充	高齢者サロン活動・子育てサロン活動の拡充、障害者サロンの検討・実施	80ヶ所	90ヶ所	100ヶ所	110ヶ所	サロン数:90ヶ所 ・新規立ち上げ相談・支援 ・サロン支援金の交付	サロン数:92ヶ所 高齢者78(うち今年度新規4)・子育て14(うち今年度新規2) ・新規立ち上げ相談・支援(継続)・・・複数個所で相談・支援を行い、9月に本町および鹿島で新規立ち上げへ ・サロン支援金の交付・・・高齢者78・子育て12団体交付済み	高齢者サロン3ヶ所立ち上げ 高齢者サロン数:81ヶ所 子育てサロン数:14ヶ所
3	サロン活動の拡充	サロン活動連絡会の設置	検討	検討・開催	開催	開催	連絡会設置に向け検討し、設置する 高齢者サロン ・包括支援センターエリアごとにサロン交流会の実施 ・全体交流会の実施 子育てサロン ・全体交流会の実施 連絡会の設置	高齢者サロン ・包括支援センターエリアごとにサロン交流会の実施 6/30長房地域サロン8団体交流会の実施 包括長房より2名参加あり(於:長房ふれあい館) 子育てサロン ・全体交流会の実施・・・8/30実施。9団体参加あり (於:ボランティアセンター)	高齢者サロン交流会の実施・・・包括地域単位で包括職員も交え団体間の情報交換を行った。 ・包括片倉地域(9/30於:包括片倉)6団体参加 ・包括左入地域(11/24於:道の駅滝山)4団体参加 ・包括ゆうゆう地域(11/28於:ボランティアセンター)4団体参加
4	サロン活動の拡充	ひとりぐらし高齢者昼食交流会	実施	実施	充実	充実	民生委員・児童委員協議会20地区・27会場で実施し、次年度以降の実施方法を民協と検討する ・実施(20地区27会場) ・アンケート実施 ・今後の実施方法について民協と意見交換		20地区26会場で実施 理事だけではなく、圏域担当職員がスタッフの一員として参加
5	小地域福祉活動の活性化	支えあいの仕組みづくりの検討	先進地域との情報交換実施	マニュアルづくり	啓発	啓発	仕組みづくりのためのマニュアル作成 ・マニュアル作りに向けて先進地区相互の意見交換 ・マニュアルの作成		別紙2のとおり
6	小地域福祉活動の活性化	ビジネス手法を取り入れた地域活動活性化の検討	検討	実施	充実	充実	調査研究・検討の継続 ・法政大学、多摩信用金庫、市民活動支援センター等と引き続きの検討する		
7	地域福祉活動担い手講座などの開催	地域福祉活動入門講座の開催	検討	開催	開催	開催	講座の開催 ・講座のプログラムの検討 ・講師の依頼、スケジュール調整、広報等 ・北部圏域での開催		地域で活かすボランティア講座開講 11/15開講 全5回講座 「地域福祉とは」 「地域のボランティアグループ活動紹介」

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成23年8月末時点)	取り組んだ内容(平成23年11月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
8	地域福祉活動担い手講座などの開催	テーマ別ボランティア講座の開催	検討	開催	開催	開催	現行講座の継続開催 ・傾聴ボランティア講座の開催 ・精神保健ボランティア講座の開催	・傾聴ボランティア講座の開催 5/12開催 於:由井市民センターみなみ野分館 (参加者:67名) 5/19開催 於:加住市民センター (参加者:27名) 5/26開催 於:由木中央市民センター (参加者:55名) ・傾聴ボランティアスキルアップ講座開催予定・・・上記受講者を対象に、施設実習を含む講座を10・11月に開催予定	傾聴ボランティアスキルアップ講座開催 11/17長房ふれあい館会場 31名修了 11/18南大沢市民センター会場 34名修了
9	地域福祉活動担い手講座などの開催	世代別ボランティア講座の開催	検討	開催	開催	開催	現行講座の継続開催 ・青年ボランティア体験学習の開催	・青年ボランティア体験活動・・・7/23から8/31の間実施 (活動者数:167名 活動延日数:787日)	
10	地域福祉活動担い手講座などの開催	サロン活動担い手養成講座の開催	—	検討	開催	開催	サロン交流会を継続実施し、連絡会設置の共通認識を得る ・23年度、連絡会組織を立ち上げ、講座内容の検討を行う		No3参照
11	地域福祉活動のコーディネート機能の充実	ボランティアリーダー養成講座の開催	検討・開催	開催	開催	開催	2回開催 ・リーダー養成講座	・ボランティア地区リーダー会・・・6/22開催 於:ボランティアセンター(参加者:25名) 内容「相馬市災害ボランティアセンター活動報告」 事務連絡「地区ボランティア活動助成金について」	
12	地域福祉活動のコーディネート機能の充実	地域福祉活動コーディネートの充実	人材の発掘・育成	充実	充実	充実	人材の発掘・育成 ・リーダー養成講座 ・講座のプログラムの検討 ・講師の依頼、スケジュール調整、広報等 ・北部圏域町会自治会、ボランティアグループ等との協議継続		
13	見守り・相談機能の充実	よろず相談の開催	—	検討	年6回開催	年12回開催	内容の検討 ・北部圏域での実施方法について検討		
14	防災への取組	防災福祉マップづくり	—	検討	実施	実施	住民懇談会のテーマとして検討 ・北部圏域における防災の取り組み内容を調査するとともに、東日本大震災をテーマに懇談を検討		
15	防災への取組	地域防災訓練の開催	—	検討	実施	実施	住民懇談会のテーマとして検討 ・八王子市総合防災訓練への参加		

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成23年8月末時点)	取り組んだ内容(平成23年11月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
16	災害時支援	災害時支援ボランティアコーディネーターの育成	継続	継続	継続	継続	研修会の開催 ・八王子市総合防災訓練への参加 ・研修会の開催	災害ボランティアコーディネーター研修開催 9/17 於:ボランティアセンター 「相馬市災害ボランティアセンター支援活動報告」 「災害対応カードゲームクロスロード」 八王子市総合防災訓練における災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施 10/2 於:上巻分方小学校	

＜社協発展・強化計画＞

17	社協会員制度	会員会費を徴収した地域圏に一定割合を還元	検討・規程整備	実施(2地区)	実施(4地区)	会員会費の用途を見えやすくし、市民にとって理解されやすい・加入しやすい会費制度づくり ・理解されやすく加入しやすい会費制度に向け事務局レベルで準備 ・必要に応じて外部委員による委員会の設置・運営 ・具体的な推進方法、体制や影響の検討 ・関係団体等の調整	住民協への助成方法を変更 (人口に応じた定額制→会費納付額に応じた比例制) 還元率:会費の15%	
18	社協会員制度	団体及び企業会員区分の新設	検討・規程整備	実施(H22対比、10%増)		団体・企業会員会費制度づくり ・理解されやすく・効果がある・加入しやすい法人会員制度に向け事務局レベルで準備 ・必要に応じて外部委員による委員会の設置・運営 ・具体的な推進方法、体制や影響の検討 ・関係団体等の調整	市内2500企業・団体に会費依頼のチラシを送付	
19	理事会・評議員会のあり方	新任理事・評議員への研修体系の確立	検討・研修体制整備・実施	充実		自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり ・評議員の改選 ・新任評議員の新任研修開催	改選時研修会を実施	
20	理事会・評議員会のあり方	議論の活性	検討・実施	充実		自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり ・評議員会の活性化への取組の検討(事務局段階) ・活性化の検討(三役会・理事会) ・取組の提案、検討(評議員会) ・取組の実施(評議員会)		
21	理事会・評議員会のあり方	理事・評議員会の選出区分や選任数の見直し	検討・関係団体との調整	必要に応じ実施		自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり ・次期役員改選に向け検討		
22	理事会・評議員会のあり方	経営管理理事の見直し	検討・関係団体との調整	必要に応じ実施		自立した経営体制づくり ・自立した経営体制づくりの検証(事務局段階において他地区の状況把握や検証) ・必要に応じて八王子市と協議 ・必要に応じて予算要望		
23	部会・委員会等のあり方	地域福祉推進協議会の設置や部会の再編	検討・規程整備	開催(2地区)	開催(4地区)	地域福祉推進協議会準備委員会の発足 ・拠点の確保に向けた検討 ・北部圏域内の町会自治会等の団体と協議 ・地域福祉推進協議会準備委員会の発足	別紙1のとおり	別紙1のとおり

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成23年8月末時点)	取り組んだ内容(平成23年11月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
24	指定管理者制度への対応	本会における指定管理者制度受託のあり方検討委員会の新設	検討・規程整備	設置答申(恩方・長房)	実施		検討委員会の発足準備 ・制度の検証・検討課題の整理 ・情報収集		
25	新たな事務局体制	事務局体制の改編及び現行事業の見直し	検討・規程整備 ・実施(地域福祉推進課設置)	充実			既存の現行事業の見直し、改善、改革及び統廃合 ・現行事業の見直し、改善、改革、統廃合		
26	新たな事務局体制	コミュニティソーシャルワーカーの任命	実施(モデル地区)	実施(1地区)	実施(4地区)	充実	必要に応じてコミュニティソーシャルワーカーを任命 ・必要に応じてコミュニティソーシャルワーカーを任命	別紙1のとおり	別紙1のとおり
27	新たな事務局体制	地域福祉活動推進員の配置	検討・実施(モデル地区)	実施(1地区)	実施(4地区)	充実	具体的検討と配置 ・リーダー養成講座 ・講座のプログラムの検討 ・講師の依頼、スケジュール調整、広報等 ・北部圏域での開催 ・北部圏域町会自治会、ボランティアグループ等との協議継続		
28	権利を擁護する体制の確立	権利擁護(含む成年後見支援)センターの設置	検討・規定整備 ・設置・実施	充実			権利擁護センター設置 ・八王子市と協議		
29	権利を擁護する体制の確立	後見監督業務の実施	検討	要領等の整備実施	充実		後見監督業務の実施 ・市民後見人のフォローアップ研修の実施 ・市民後見人推薦のための規程整備 ・実施のために規程整備	運営委員会を2回開催し、要領や選任基準を決定	
30	権利を擁護する体制の確立	他界後の事務支援の検討	検討	必要に応じ実施			他界後の事務支援の検討 ・八王子市と協議		
31	事務局拠点のあり方	拠点のあり方について検討	検討・提案	必要に応じ実施			市民が「相談しやすい」、「利用しやすい」場所に事務局拠点を移設する方向性を打ち出す ・ボランティアセンターとの一体化を八王子市へ要望		
32	人材育成の仕組みづくり	研修制度の充実	検討・整備・実施	充実			全職員が一定の人材育成の方向性に基づく研修体系の整備化・実施 ・社協検討会や各担当内ミーティングの実施 ・昼窓や繁忙期の共同作業の実施 ・担当を超えたOJTの実施 ・効果的な研修体制の体系化検討・実施 ・職員の資格取得の奨励(職免制度の活用) ・職員情報のデータベース作成		

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成23年8月末時点)	取り組んだ内容(平成23年11月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
33	人材育成の仕組みづくり	共に育つ職場づくり	検討・整備・実施		充実		共に育つ職場づくりの基礎作り ・社協検討会や各担当内ミーティングの実施 ・昼窓や繁忙期の共同作業の実施 ・担当を超えたOJTの実施		
34	人材育成の仕組みづくり	人事管理	検討・関係団体との調整		必要に応じ実施		職員の資質向上 ・資質向上につながる研修会等参加支援	平成23年度・24年度の2年間で圏域担当職員全員を地域福祉コーディネーター研修会(東社協主催)に参加させることを決定	
35	財務	「特定寄付制度」「メモリアル寄付」の創設やメニューづくり	検討・整備・実施		充実		寄付者の意向が伝わる寄付制度づくり ・寄付者の意向が伝わる特定寄付制度の実施 ・寄付するきっかけにつながる寄付制度(メモリアル・香典返し)の実施 ・市民等から提供申し出のあった物品や寄付品の福祉施設などへのマッチングの実施 ・寄付のメニュー化や税控除など市民に分かりやすく広報 ・時代に即した寄付受入や実施体制の検討・整備		
36	財務	身近に気軽に寄付・募金できる環境整備	検討・整備・実施		充実		身近に気軽に寄付・募金ができる環境整備 ・寄付者の意向が伝わる特定寄付制度の実施 ・寄付するきっかけにつながる寄付制度(メモリアル・香典返し)の実施 ・市民等から提供申し出のあった物品や寄付品の福祉施設などへのマッチングの実施 ・寄付のメニュー化や税控除など市民に分かりやすく広報 ・市民が主体的に実施する募金活動の支援 ・時代に即した寄付受入や実施体制の検討・整備	被災地を支援するためのボランティアに対して、1人1万円を限度として活動費を助成する制度を創設	
37	財務	住民が主体的に募金するシステム構築	検討・関係団体との調整	再構築	充実		赤い羽根共同募金地区配分推せん委員会の開催 ・委員会の開催	継続して、被災地支援ボランティア活動助成金の原資としての募金を市民、企業、団体に募り、11/1から助成金申請受付を開始 12/2現在寄付金額 4,446,642円 12/2現在助成金申請件数 37件 助成申請金額 336,000円 八王子市災害復興支援ボランティア事業の活動写真パネル展を開催し、被災地支援ボランティア活動の周知を図るとともに、上記募金の周知に努めた。	
38	財務	事業収入の強化	検討・関係者との調整	必要に応じ実施	充実		本会事業収入の適正価格への移行準備 ・現行の事業収入の現状検討(適正化) ・早急に適正化が必要な事業収入の選定 ・必要に応じて適正化に必要な手続きの検討 ・必要に応じて利害関係者との調整		
39	財務	収益事業の拡大	検討・関係団体への働きかけ		実施		自己財源の確保 ・自販機・証明写真機設置事業の拡大を検討 ・その他、財源確保につながる収益事業の研究 ・必要に応じて実施方法の検討・整備 ・自動販売機設置事業の更新入札準備 ・自動販売機設置事業の更新入札の実施	新規に八王子駅南口総合事務所内に証明写真機を設置	

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成23年8月末時点)	取り組んだ内容(平成23年11月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
40	財務管理	内部けん制の強化	検討・規程整備	実施	充実	<p>適切な事務執行体制の確立に努め、市民から信頼される社協づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事による決算監査の実施(5/20) ・不祥事故防止体制の充実 ・事務局内部による中間監査の実施 			
41	財務管理	情報公開の強化	検討	実施	充実	<p>透明性の高い社協づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の代表者である理事・評議員に詳細な運営状況の情報提供の実施 ・市民に主要な運営状況の情報提供の実施(社協だより・HPなど) 			
42	財務管理	トップマネジメント力の強化	検討・関係団体との調整	必要に応じ実施		<p>自立した経営体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営会議である三役会の開催 ・自立した経営体制づくりを事務局レベルで検証(他地区の状況把握や検証) ・必要に応じて八王子と協議 ・必要に応じて予算要望 			

	日にち	参加会議等	内容および社協の関わり 出された主な意見等
中央	10/14	元横山地区町会自治会連合会 定例会	地域福祉推進計画の概要説明 ・社協や包括の活動が見えにくい。 ・個人情報の問題。
	11/28	包括ゆうゆうエリア ふれあいサロン交流会	サロン団体相互の近況報告と情報交換 ・サロンへの男性参加者が少ない。 ・スタッフの後継者が育っていない。
北部	10/26	加住小中学校「第1回 加住ふれあいコミュニティ」	・挨拶 学運協会長及び学校長・趣旨説明 副校長・参加者自己紹介 ・1回目ということであったがスムーズに進行。アトラクション参加も含め地元住民の参加が得られた。今後の運営参加を申し出る方や友人や老人会へも呼びかけ参加したいとの声があった。 ・今後に向けて：加住地区と社協の関係づくり、ボランティアの発掘、高齢者の見守り、地域課題発見の場と捉え協力連携を継続する。
	11/4	久保山町「八王子パークヒル宇 津木台」におけるサロン立ち上 げについて	・現在、趣味活動(編み物)を通じて東北支援を行おうと、近隣住民数名が定期的 的に集っている。この輪を広げてサロン活動へ発展できないか検討。 ・住民の交流は極端に少なく、管理組合による住民交流の取り組みもほとんど ない状況。 ・管理組合の承認や地域の老人クラブ、隣の町会との連携を検討。
	11/24	包括左入エリアふれあいサロン 団体交流会	サロン団体相互の近況報告と情報交換 ・各団体とも町会、老人会、担当民生委員と連携し実施。 課題：次世代スタッフの育成と参加者の固定化。 その他、丸山町では老人会を中心に高齢者の買い物支援を検討中、年明け に民生委員、包括左入、社協も加わり老人会の方々と懇談を実施予定。 ・今後共通課題の検討、活動の底上げを目的に、定期的な交流会を実施する。
西南部	9/15	横山北地区町会自治会連合会 定例会	地域福祉推進計画の概要説明 ・地域福祉推進協議会とは、浅川地区社協をイメージするものか。 ・今回のように10分、15分ではなく、しっかりと地域を語り合う場を設ける必要 あり。 ・大きな構想なので市バックアップが必要。市部長クラスが依頼に来てもいいの では。 ・個人情報を町会にも提供してほしい。 ・地域課題を社協が把握しないと、計画を進めるのは難しいのでは。
	9/28	浅川地区町会自治会連合会定 例会	地域福祉推進計画の概要説明 ・社協の活動になるのか、浅川地区社協の活動になるのか。
	10/27	包括長房センター支援会議	地域福祉推進計画の概要説明 ・防災を切り口にしてもいいのではないか。 ・町自連に加盟していない町会もあるが、住民協でカバーしていく。 ・活動拠点をどうするか。町自連は活動拠点が無いが住民協には市民センター がある。 ・スピード感を意識して進めていくべき。 ・計画推進のマニュアルや行程表を作るべき。

	日にち	参加会議等	内容および社協の関わり 出された主な意見等
西南部	11/16	横山南地区町会自治会連合会 定例会	地域福祉推進計画の概要説明 ・町会の会合でも説明してもらえるか ・何を呼びかけたいのかわかるチラシを作り、町会に世帯数分配付してほしい。 ・北部圏域におけるピフォーアフターのようなものを示してほしい。 ・町会の活動を支援してもらえるのか。社協の行う活動に町会が協力するの か。 ・近所同士のつながりは重要なこと。
	11/1	元八王子地区町会自治会連合 会定例会	地域福祉推進計画の概要説明 ・町会に何を求めているかわからない。具体的なものを明示してほしい。 ・計画推進の年間スケジュールを示してほしい。 ・個人情報はどこまで開示できるものか。 ・町会は福祉に関して素人なので専門性を有する民生委員を支援した方が充 実するのでは。 ・北部地域では具体的にどのような活動があるのか。
西部	11/7	川口地区町会自治会連合会定 例会	地域福祉推進計画の概要説明 ・別組織を新たに作るのではなく、地域に根付いた地域包括支援センターの活 動を充実させればよい。会議が増えるだけである。 ・一方的に縦割りを実施していると感じる。とても協力できない。地域福祉の窓 口を包括も含めて一本化してほしい。 ・地域とギャップを感じてもらって、包括にはいろいろ引き受けていただき、信 頼関係を構築した。社協の発想は甘い。個々の町会を訪問すべきである。
	9/20	由井地区町会自治会 連合会定例会	地域福祉推進計画の概要説明 ・地域福祉推進協議会は何をしてくれるのか。 ・住民懇談会は複数の自治会と開催できるのか。
東南部	9/30	包括片倉エリア 高齢者サロン交流会	課題について情報交換 ・男性の参加者が少ない。 ・新たな参加者を誘うのが難しい。 ・市民センターを毎月予約するのが大変。
	10/13	片倉台高齢者見守り ネットワーク運営会議	地域福祉推進計画の概要説明高齢者福祉に関する情報交換 ・個人情報の開示について検討してほしい。 ・小地域活動の活性化が大事であるが担い手の高齢化が問題。
東部	9/14 10/20	サロン見附橋 立ち上げの打ち合わせ	サロン立ち上げの経緯について ・入居時期により購入価格の違いがあったため住民同士が仲が良くない背景 がある。 ・集会所を利用して健康体操を行っていた有志の方々が仲間作りの大切さを 実感したこと。
	10/6	包括堀之内包括ケア会議 場所：ファミリーイン堀之内	地域の情報をまとめたマップ作りを行うため、地域の社会資源をもちより情報交換 ・路線バスの運行がなく、移動に困っている。 ・シャッター商店街化しており、買い物に困っている。

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
9/5	17:00 ～ 18:30	加住小中学校地域交流 サロンの立ち上げにつ いて 場所:加住小中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・加住小中学校副校長より、学校運営協議会(学運協)を運営 主体としたサロン活動が明示される。 ・包括林センター長、大島より民協の会議参加報告を行い、そこでの意見について報告し、放課後教室の運営主体との協議が必要と報告。 ・放課後教室との連携は重要視し、9月に学校放課後教室役員会、拡大役員会を開催し、学校側から趣旨説明を実施する。 	杏林大学 2名 包括左入 1名
9/7	15:30 ～ 16:30	加住小中学校放課後教 室見学 場所:加住小中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・主任児童委員他スタッフから活動の様子を聞く。地域の多くの方々が協力しているということから、検討している地域交流活動とのコラボについては、放課後教室のこれまでの活動の流れを尊重し、協議連携が必要であることを確認 	
9/28	17:00 ～ 18:30	加住小中学校 「加住ふれあいコミュニティ」 の立ち上げについて 場所:加住小中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・加住小中学校副校長、学校コーディネーターより、名称を「加住ふれあいコミュニティ」とする旨の報告を受ける。 ・学運協を実施主体とし、子どもを中心に高齢者他地域住民との世代間交流を目指し、子どもの健やかな成長に寄与する。 ・担い手の核は学校コーディネーターとする。杏林大学、包括、社協は継続し連携協力をお願いしたい旨。運営のサポートとして杏林大学学生、地域住民へボランティアを呼びかける。 ・10月26日(水)を第1回目とする。1回目は地域の住民の方に呼びかけお集まりいただき、活動の趣旨説明やアトラクションを行う。 	宮下町会長 杏林大学 1名 包括左入 1名
10/5	15:00 ～ 15:30	加住小中学校 「加住ふれあいコミュニティ」 の立ち上げ経過報告 場所:第8地区民協 会長宅	<ul style="list-style-type: none"> ・8月の定例会時以降の経過について説明 運営主体が学運協、担い手の中心は学校コーディネーター等の決定事項を報告 	包括左入 1名
10/18	17:00 ～ 18:00	加住小中学校 「加住ふれあいコミュニ ティ」の立ち上げにつ いて 場所:加住小中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・26日第1回目の開催に向けた準備と役割分担の決定 	杏林大学 1名 包括左入 1名
10/26	12:00 ～ 16:00	加住小中学校 「第1回 加住ふれあいコミュニ ティ」 場所:加住小中学校分 校 (旧中学校図書室)	<ul style="list-style-type: none"> ・1:30分開会 ・挨拶 学運協会長及び学校長 ・趣旨説明 副校長 ・参加者自己紹介 ・宮下町会女性有志、杏林大学生によるアトラクション ・15:30閉会 ・様子:1回目ということであったがスムーズに進行。アトラクション参加も含め地元住民の参加が得られた。今後の運営参加を申し出る方や友人や老人会へも呼びかけ参加したいとの声があった。大学生と参加者の会話がはずんでおり他のサロンにはない賑わいがあった。 ・今後に向けて:加住地区と社協の関係づくり、ボランティアの発掘、高齢者の見守り、地域課題発見の場と捉え協力連携を継続する。 	学運協会長 宮下町会長 8地区民 生委員 3名 杏林大学 9名 包括左入 3名 他

11/4	10:00 ～ 11:30	久保山町 「八王子パークヒル宇津木台」におけるサロンの立ち上げについて 場所:パークヒル集会室	ふれあいサロン立ち上げについての打ち合わせ ・参加住民4名 ・現在、趣味活動(編み物)を通じて東北支援を行おうと、近隣住民数名が定期的集っている。この輪を広げてサロン活動へ発展できないか検討 ・マンション住民の交流は極端に少なく、管理組合による住民交流の取り組みもほとんどない状況だという ・震災の発生もあり、近隣同士の助け合いの大切さを感じ、少しずつでも顔の見える関係作りすすめ、交流を深めていきたい ↓ ・サロン活動の効果や現在の市内の活動状況、支援の内容等説明 ・管理組合の承認や地域の老人クラブ、隣の町会との連携を検討	
11/9	17:00 ～ 18:00	加住小中学校 「加住ふれあいコミュニティ」の打ち合わせ 場所:加住小中学校	第1回ふれあいコミュニティの反省と次回内容打ち合わせ ・1回目の振り返り:主旨も理解された様子。除々に参加者が広がればと思う。またボランティアの申し出もあったので、今後に期待できる第一歩であった。 ・次回:放課後こどもクラブが中学の裏山で活動予定。コミュニティの参加者も無理ない範囲で合流する。	
11/24	14:00 ～ 16:00	包括左入エリア ふれあいサロン団体交流会 場所:道の駅会議室	サロン団体相互の近況報告と情報交換 ・参加:4団体(7団体活動中) …各団体とも町会、老人会、担当民生委員と連携し実施。 課題:次世代スタッフの育成と参加者の固定化 その他、丸山町では老人会を中心に高齢者の買い物支援を検討中、年明けに民生委員、包括左入、社協も加わり老人会の方々と懇談を実施予定 ・今後共通課題の検討、活動の底上げを目的に、定期的な交流会を実施する。	・滝山サロン ・石川サロン ・みついで台 喫茶 ・喫茶室 オリーブ
11/30	13:00 ～ 16:00	加住小中学校 「第2回 加住ふれあいコミュニティ」 場所:加住小中学校分校 (旧中学校図書室)	「第2回加住ふれあいコミュニティ」 ・参加者が少なくスタッフ中心の話し合いとなる。 参加:15名 ・今後に向けてPR方法の検討 → 町会自治会及び老人クラブへの周知を積極的に行う ・内容の検討 → 輪投げや囲碁将棋、健康麻雀などレクレーションを組み込む考え方も必要 ・後半の時間は、放課後子ども教室の児童と裏山で交流	学運協会長 8地区民生委員 2名 杏林大学 5名 包括左入 2名 他

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
10/14	19:00 ～ 20:00	元横山地区町会連合への プラン説明 場所:元横山町第2町会会 館	いきいきプランの説明 出席町会:元一自治会、元横山町中部自治会、元横山町 第4町会、元横山町第5町会、元横山第2町会 主な意見 ・社協や包括の活動が見えにくい ・個人情報の問題	
11/28	14:00 ～ 16:00	包括ゆうゆうエリア ふれあいサロン交流会 場所:ボランティアセンター	サロン団体相互の近況報告と情報交換 ・参加:4団体(6団体活動中) … 中央部圏域は本年度新規3団体が立ち上がる 課題:新設サロンはまだ試行錯誤の状況もあるが、町 会、民生と協力しながら実施。継続サロンは、ス タッフ後継者の育成、自治会との関係に隙間がで きてしまった(富士見)、会場が手狭になっている、 参加者の固定化(大和田)、内容として、健康麻雀 を取り入れ、男性の参加者の増加があった(富士見) ・今後共通課題の検討、活動の底上げを目的に、定期的 な交流会を実施する。	大和田ひだ まり会 富士見ふれ あいサロン さろんあい あい 本町なでし この会

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
9/14	14:00 ～ 15:00	サロン見附橋 立ち上げの打ち合わせ 場所:別所コープタウン見 附橋集会所	サロン立ち上げの経緯について ・入居時期により購入価格の違いがあったため住民同士 が仲が良くない背景がある ・集会所を利用して健康体操を行っていた有志の方々が、 仲間作りの大切さを実感したこと 運営のポイントや支援金についての説明	
9/14	15:30 ～ 16:30	サロンとちの木 立ち上げの打ち合わせ 場所:鹿島らいふねっと MOE	初日サロン開催日の内容について打ち合わせ ・初回は特に出し物などをやらずにお茶のみ、おしゃべりメインに する。 ・今後やりたい内容について、直接参加者より希望を聞く。 準備経費支援金について使途の確認、申請書類の確認	
9/28	13:30 ～ 15:00	サロンとちの木 初回開催 場所:鹿島らいふねっと MOE	・参加者にサロンの役割やその他の社協事業を説明 ・地域包括支援センター堀之内より包括の役割などを説明 ・近隣にある既存の団体「サロンゆきやなぎ」代表者より、 長く続けるポイントや人気のあるテーマなどについて情 報提供 ・参加者間で交流しながら、今後の内容の検討 →お茶のみだとどうしても男性が集まりにくいのでウォー キングなどもとりいれてはどうか →食べることは誰でも興味をひくので、由木東市民セン ターの調理室をかりて調理と会食がよい	包括堀之内 2名
10/5	14:00 ～ 15:30	ボランティア情報交換会 および講習会 場所:由木中央市民センター	ボランティアポイントの登録ボランティア同士の情報交換 講習:テーマ「高齢者の消費生活トラブル」 講師:東京都消費生活相談センター 森山祥子氏	包括堀之内 4名
10/6	13:30 ～ 15:30	地域包括支援センター堀之 内包括ケア会議 場所:ファミリーイン堀之内	地域の情報をまとめたマップ作りを行うため、地域の社会 資源をもちより情報交換	包括堀之内 4名
10/20	15:00 ～ 16:00	サロン見附橋 立ち上げの打ち合わせ 場所:別所コープタウン見 附橋集会所	サロン立ち上げ時の調整・打ち合わせ ・自治会理事長にサロンの目的を説明し、理解を求めた ・毎回ラジオ体操を取り入れる等内容について検討した	
10/27	13:30 ～ 15:30	地域包括支援センター堀之 内センター支援会議 場所:由木中央市民センター	地域防災についての情報交換 講演:テーマ「地域防災について」 講師:特定非営利法人 災害福祉広域支援ネットワー クサンダーバード 蓮本 浩介氏	包括堀之内 4名
11/10	13:30 ～ 15:30	サロン見附橋 初回開催 場所:コープタウン見附橋 集会所	・参加者にサロンの役割やその他の社協事業を説明 ・参加者間で交流しながら、次回の内容を検討 →包括南大沢に「包括の役割」と「介護予防」について 講義をお願いしたい	

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
9/20	19:00 ～ 19:20	由井地区町会自治会 連合会定例会 場所: 由井市民センター	地域福祉推進計画の概要説明および協力依頼 圏域担当の紹介 出された主な意見: ・地域福祉推進協議会は何をしてくれるのか? ・住民懇談会は複数の自治会と開催できるのか?	包括片倉 1名
9/30	14:00 ～ 15:30	地域包括支援センター片倉 担当区域内 高齢者サロン交流会 場所: 包括片倉会議室	各団体の紹介 6団体 (参加団体: お元気クラブ、お茶のみ水大学、ふらっとサロン、片倉台ふれあいいきいきサロン、みなみ野ふれあいサロン、山田こぶしの会) 情報交換: ・最近成功した会の催しについて ・現状の課題について → 男性の参加者が少ない → 新たな参加者を誘うのが難しい → 市民センターを毎月予約するのが大変 → 会場費無料の場所が使えなくなり支出が増えた	包括片倉 3名
10/13	10:30 ～ 12:00	片倉台高齢者見守り ネットワーク運営会議 場所: 片倉台自治会館	地域福祉推進計画の概要説明および協力依頼 高齢者福祉に関する情報交換 出された主な意見: ・個人情報の開示について検討してほしい。 ・小地域活動の活性化が大事であるが担い手の高齢化が問題である。	包括片倉 3名
10/24	14:00 ～ 16:00	16-1地区民生委員交流会 (包括片倉センター支援会 議) 場所: 北野市民センター	小比企町、片倉町(東急片倉台を除く)民生委員との情報 交換 出された主な意見: ・昼食交流会について送迎の問題があると声が聞かれた ・長寿を祝う会について会場に来られない方のことも考慮 し在り方を検討してほしい	包括片倉 3名
10/27	14:00 ～ 15:30	包括南大沢北野台地区 センター支援会議 場所: 北野市民センター	八王子市高齢者支援課情報提供 地域包括支援センター南大沢より活動報告 情報交換: ・来年度北野台包括の区域割が南大沢から長沼に変更 になるが、引継ぎをスムーズに行いたい。	包括南大 沢 2名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
9/15	19:00 ～ 19:30	横山北地区町会自治会連 合会定例会 場所:長房市民センター	地域福祉推進計画の概要説明および協力依頼 圏域担当の紹介 出された主な意見 ・地域福祉推進協議会とは、浅川地区社協をイメージするものか。 ・西日本では地区社協の取組が進んでいるので参考にするとよい。 ・今回のように10分、15分ではなく、しっかりと地域を語り合う場を設ける必要あり。 ・大きな構想なので、市のバックアップが必要。市の部長クラスが依頼に来てもいいのでは。 ・個人情報も町会にも提供してほしい。 ・地域課題を社協が把握しないと、計画を進めるのは難しいのでは。	
9/25	13:30 ～ 15:00	めじろ台安心ねっと講演会 「つながる社会、助けあう地域」 場所:めじろ台第一会館	めじろ台安心ねっとの活動の視察	
9/28	19:00 ～ 19:30	浅川地区町会自治会連 合会定例会 場所:上宿町会館	地域福祉推進計画の概要説明および協力依頼 圏域担当の紹介 出された主な意見: ・社協の活動になるのか、浅川地区社協の活動になるのか。	包括高尾 2名
10/20	13:30 ～ 15:00	大船木曜クラブ(サロン) 場所:大船町会館	社協の組織・活動概要を説明	
10/27	13:30 ～ 15:00	地域包括支援センター長房 センター支援会議 場所:地域包括支援セン ター長房	地域福祉推進計画の概要説明および協力依頼 圏域担当の紹介 出された主な意見: ・防災を切り口にしてもいいのではないか。 ・町自連に加盟していない町会もあるが、住民協でカバーしていく。 ・活動拠点をどうするか。町自連は活動拠点が無いが、住民協には市民センターがある。 ・スピード感を意識して進めていくべき。 ・計画推進のマニュアルや行程表を作るべき。	包括長房 3名
11/16	19:00 ～ 19:30	横山南地区町会自治会連 合会定例会 場所:横山南市民センター	地域福祉推進計画の概要説明および協力依頼 圏域担当の紹介 出された主な意見: ・町会の会合でも説明してもらえるか ・何を呼びかけたいのかわかるチラシを作って、町会に世帯数分配付していただきたい。 ・北部圏域におけるビフォーアフターのようなものを示してほしい。 ・町会の活動を支援してもらえるのか。社協の行う活動に町会が協力するのか。 ・近所同士のつながりは重要なこと。	包括高尾 1名 包括めじろ 1名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
9/6	9:00 ～ 11:00	サロン立ち上げに向けた打合せ 場所:松枝住宅管理事務所	松枝住宅における新規サロンの立ち上げに向けた打合せ 東京都補助の活用を検討	
10/14	14:30 ～ 15:15	横川町住宅サロン 横川町住宅	横川町住宅サロンの視察 わいわいサロン(日曜日を除く毎日実施)、お助け隊(住民の身近な困りごと対応)、防犯パトロール(毎日実施)	
11/1	19:30 ～ 20:10	元八王子地区町会自治会 連合会定例会 場所:元八王子事務所	地域福祉推進計画の概要説明および協力依頼 圏域担当の紹介 出された主な意見: ・町会に何を求めているかわからない。具体的なものを明示してほしい。 ・計画推進の年間スケジュールを示してほしい。 ・個人情報はどこまで開示できるものか。 ・町会は福祉に関して、素人である。専門性を有する民生委員を社協として支援した方が充実するのでは。 ・北部地域では具体的にどのような活動があるのか。	包括元八王子 1名 包括川口 1名
11/7	19:50 ～ 20:10	川口地区町会自治会連合 会定例会 場所:川口市民センター	地域福祉推進計画の概要説明および協力依頼 圏域担当の紹介 出された主な意見: ・別組織を新たに作るのではなく、地域に根付いた地域包括支援センターの活動を充実させればよいのでは。会議が増えるだけである。 ・一方的に縦割りを実施していると感じる。とても協力できない。地域福祉の窓口を包括も含めて一本化してほしい。 ・地域とギャップを感じてもらって、包括にはいろいろ引き受けていただき、信頼関係を構築した。社協の発想は甘い。個々の町会を訪問すべきである。 ・社協は行政であると誤解されるので、「市」を削除して、「八王子社会福祉協議会」に改称したほうがよい。	包括川口 1名
11/11	13:30 ～ 15:30	サロン立ち上げに向けた打合せ 場所:泉町公社住宅集会室	泉町町内における新規サロンの立ち上げに向けた打合せ 12月に中野サロンを視察する 3月のプレオープンを目指す	

No5.小地域福祉活動の活性化 ー 支え合いの仕組み作りの検討 ー

小地域福祉活動団体情報交換会の実施報告

1. 実施日及び参加団体等

○日 時:平成 23 年 11 月 9 日(水) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

○会 場:八王子市ボランティアセンター

○参加団体:6 団体(12 名)

- ・片倉台福祉ネットワーク(3 名)
- ・みつい台ふれあいの会(2 名)
- ・館町団地福祉支援ネットワーク(2 名)
- ・めじろ台安心ネット(1 名)
- ・横川町自治会「お助け隊」(3 名)
- ・館ヶ丘自治会声掛け見守りチーム・お助けチーム(1 名)

○オブザーバー:市役所(4 名)

市民活動推進部次長兼協働推進課長、都市政策研究所(2 名)健康福祉総務課(1 名)

○本 会:ボランティアセンター(3 名)

2. 各団体の現状

団体名	活動内容	活動現状	課題
片倉台福祉ネットワーク	庭木の枝切り、草取り、 買い物、薬とり、通院付 添、水やり、落ち葉掃き、 家具移動、網戸張り、パ ソコン指導、留守宅管理	・利用実績 (平成 23 年度 9 月末日 現在) 延利用者人数 54 人 延時間数 75 時間	・ボランティア登録者全 員をいかに有効に気持 ち良く活動していただ く ・今後続く世代の育成
今後のビジョン 近隣の自治会・町会にも同種の組織ができ、人的交流を含んで助け合えるよ うになること			
みつい台ふれあいの会	みつい台内の送迎(車)、 通院付添、散歩付添、犬 の散歩、通園通学送迎、 話相手、植栽散水、留守 中の郵便物確認整理、 水栓パッキン取り換え、 蛍光灯取り換え、乳幼児 見守り、縫物、パソコン指 導	・利用実績 (平成 23 年度 9 月末日 現在) 延利用者人数 65 人 延時間数 100 時間	・登録ボランティアが減 少傾向にある
今後のビジョン 今年度より、季節ごとにポスターを作り、その季節に重点的に取り組みたい項目 (夏には水やり、秋には散歩の付き添い等)を PR している。このことを通じて、み つuitai家庭助けあいの会があることを浸透させたい。			

館町団地福祉支援ネットワーク	家事(水やり、枝切り、草取り、電球交換、電気器具の清掃・調整・使用方法、地デジ相談・対策)介護相談	・利用実績 (平成23年度9月末日現在) 延利用者人数 60人 延時間数 170時間	ネットワークが作ったさわやかデー、パソコン教室、館ハーモニー(介護施設訪問)が定期的に行われているが、ネットワークの認知度が上がらず、本体の利用者が減少している
	今後のビジョン 10年を経過しているため、団塊の世代等を取り込んで若返りを図りたい		
めじろ台安心ネット	救急医療キットの設置宅を訪問するアフターフォロー ふれあいサロン(茶話会と健康麻雀) 無料医療福祉相談	・利用実績 (平成23年度9月末日現在) 延利用者人数 1,420人(救急医療キット配布人数)	・在宅医療シンポジウム(1/29)の成功 ・安否確認のシステムを樹立したい
	今後のビジョン 「いきいきと安心して暮らせる街」をめざして活動していきたい		
横川町自治会「おたすけたい」	スイッチの交換 自転車パンク修理 日曜大工 家具移動 室内清掃 包丁研ぎ その他	・利用実績 (平成23年度9月末日現在) 延利用者人数 43人 延時間数 30時間	高齢者への訪問活動の具体化
	今後のビジョン ・買物をはじめ、外出時の支援など検討 ・NPO法人の検討(自治会)		
館ヶ丘自治会声掛け見守りチーム・お助けチーム	声かけ見守りチーム 団地全体を対象にアンケートを持参し訪問調査。 お助けチーム 試験的に実施し継続中、家具の組み立て・移動、ごみの出し、電球の取り換え等 その他「救急情報カード」の全戸配布	・利用実績 (平成23年度9月末日現在) 声かけ:約2,400世帯実施中 お助け:2件	・自治会の加入率の向上 ・活動の周知
	今後のビジョン ・シルバーふらっと相談室 館ヶ丘 との連携 ・他地域との情報交換の充実		

3. 今後の取り組み

(1) 定期的な情報交換会の実施 … 次回開催日:平成24年2月8日(水)

- 目的 … ・各団体の活動の活性化
・課題解決の検討

(2) 協働事業の実施

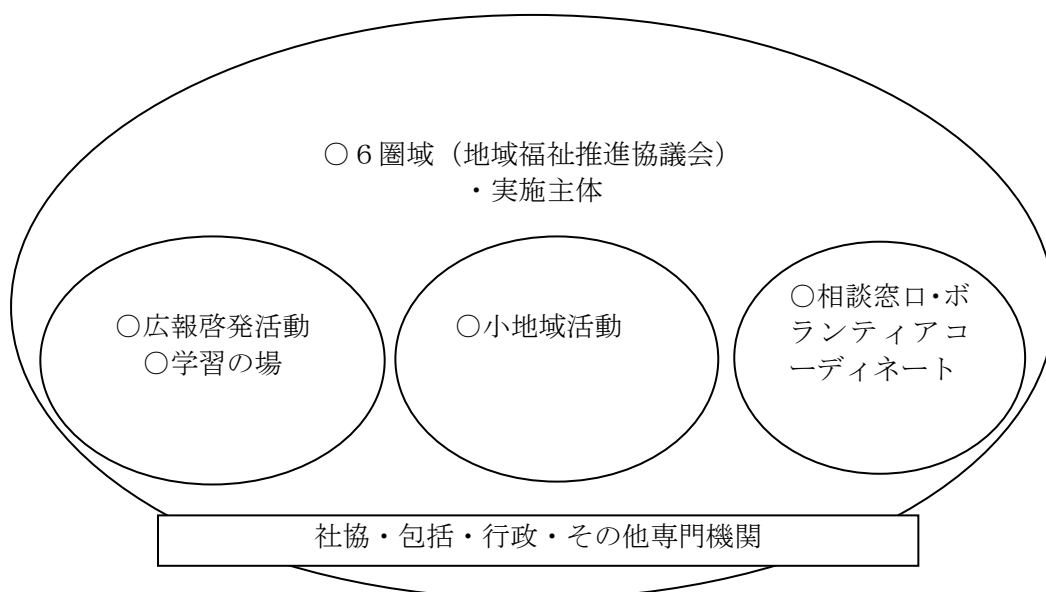
- 目的 … 市内の住民主体の見守り・支えあい活動の拡充を目的に、団体と社協が協働
- 内容 … 啓発活動の実施

「地域福祉推進協議会」の形態（組織運営、具体的活動）（案）

1 案：事業実施型（地区社協型）

<p>○組織運営</p> <ul style="list-style-type: none">・圏域内の町会・自治会・民生委員・ボランティア・老人クラブ、福祉事業者他地域内の各種団体からの代表者で構成し、運営する。・すべての活動を地域福祉推進協議会で企画・決定し実施する。・社協（圏域担当者）は地域福祉推進協議会の活動を支援する。
<p>○活動内容（メニュー）</p> <p>圏域内の福祉活動の活性化と課題解決に向けた取り組みをするために、地域福祉推進協議会が小地域福祉活動の実施主体として、以下の活動を行う。</p> <p>（活動例としての提示 すべて取り組むことが条件ではない）</p> <ul style="list-style-type: none">・サロン・見守り声かけ活動・食事サービス・相談窓口の設置・ボランティアコーディネート・広報啓発活動・学習の場（人材育成）

イメージ図



2 案：ネットワーク型（分業型）

<p>○組織運営</p> <ul style="list-style-type: none">・圏域内の町会・自治会・民生委員・ボランティア・老人クラブ、福祉事業者他地域内の各種団体からの代表者で構成し、運営する。・活動の企画・実施は行うが、地域福祉推進協議会で実施する内容は限定し、直接的な小地域活動は実施しない。・社協（圏域担当者）は地域福祉推進協議会の事務局として動く。
<p>○活動内容（メニュー）</p> <p>圏域内の既存組織、福祉活動団体等の活動を地域福祉向上の基盤と捉え、その活性化と発展、輪の広がりを目的に、以下の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・情報交換の場の設定・広報啓発活動・学習の場（人材育成）

イメージ図

